

いくしゅん 展

< ですよねー >

会期 = 2012年6月1日(金) ~ 6月27日(水)

休館日 = 日曜・祝日

開館時間 = 10:00 ~ 18:00

入場無料

アーティスト・トーク開催 6月1日(金) 18:00 ~ 19:00

会場 LIXIL ギャラリー

東京都中央区京橋 3-6-18 LIXIL:GINZA2F

TEL 03-5250-6530 FAX 03-5250-6549

企画・制作株式会社 LIXIL

ホームページ <http://inax.lixil.co.jp/gallery/>



画像をご希望の方は、メールにて画像データを送付いたしますのでお申し出ください。ホームページのプレスリリース(PDF)からダウンロードも可能です。その他の写真については、お問合せください。本展告知以外での使用、転載を禁じます。

【担当】大橋恵美
e.ohashi@lixil.co.jp

LIXIL ギャラリーでは6月1日～6月27日に、**いくしゅん展 <ですよねー>** を開催します。

いくしゅんの写真は、日常のふとした瞬間をとらえたスナップです。

顔にパックをしたまま何事もないように電話をしている女の子、はしゃいでいるうちに魂の抜けたような子供の表情、ジャンプした瞬間の写真を撮ろうとしている母子を遠くからサッと捉えたり、動物の怖いようなおかしな姿……。予測もつかない偶然の中で見過ごしてしまうエアポケット的瞬間が次々にあらわれて、ヘンで面白い、時にいじわるな日常をのびのびと再構成していきます。

いくしゅんは、8年程前から趣味として今と同じような日常的スナップを撮り始めました。

幼稚園から大学までラグビーを続け、花園にも出場するなど本格的に練習漬けの毎日を送ってきたところから一転して写真を始めたのは、今まで興味のなかった真逆のことをしてみたいという入り口からでした。「写真新世紀」展(東京都写真美術館)で2009年、2011年と佳作を受賞し、今展が初の個展となります。

デジカメで、出かけたついでに面白いと思ったものを撮る、いわゆる隠し撮りを主な手法としています。背景を含めた色感の美しさや構図、何気なさの中にある伸びやかなスピード感には、スポーツで培われた視野の広さや運動神経の速さが感じられます。スナップだけれども数は撮らない、狙って撮ると面白くないけれど、決定的瞬間を捕まえる打率がいいと、撮った写真はすべて保存しており、今展ではその中から100点ほどを会場全体に構成します。

何でもない日々にある、一生懸命でおかしくてダメだったり奇妙でヘンだったりすることの連続が、生きることはこれでいいのだと手足を伸ばしている。若い写真家のそんな自由な視点を、ぜひ会場でご覧ください。

【いくしゅん IKUSHUN プロフィール】

1980年 奈良県生まれ

主な展覧会

2009 写真新世紀東京展(東京都写真美術館)
2011 2人展「あたらしいビョーキ」
(Gallery OUT of PLACE)
写真新世紀東京展(東京都写真美術館)

受賞

2009 キヤノン写真新世紀 佳作(選:飯沢耕太郎)
2011 キヤノン写真新世紀 佳作(選:清水穰)

同時開催予定

『聖なる銀 アジアの装身具』展 6/7～8/25 日祝休
ギャラリーセラミカ 『小笠原森』展 6/7～7/2 日祝休

次回予定

『藤井秀全』展(立体)6/30～7/26